

認可保育所公募における
選定の透明化を
無所属

問 認可保育所の公募において選定の透明化が不十分と考
える。もう少し、点数や評価項目
を公表すべきである。しっかりと
選定の過程や理由を公表するなど
工夫をすべきと考えるが所見を問
う。

答 事業者の選定に当たっては
地域ごとに評価を行って
いるが、市民や地域・事業者に正しく
理解してもらうことは重要である
と考えており、今後も保育の質の
向上に向けて、選定結果の公表の
在り方は、より一層工夫したい。

子どもたちが安心して学校
生活を送るための取り組みを
無所属

問 新型コロナウイルス感染の
予防に取り組みながら、子
どもたちが心身ともに安心して学
校生活を送るためにどのように取
り組み、どのように学習を提供し
ていくのか、本市の方向性を問う。

答 新しい生活様式が求められ
る状況に適応し、子どもの
安全と学びの保障を両立させた学
校づくりを進めていく。オンライ
ン学習のような新たな学びを通し
て、「やさしさ」とたくましさをも
ち、ともに学び未来を創り出す子
ども」の育成に努めていく。

社会的養護を担う里親家庭
へのサポート体制の充実を
無所属

問 本市では里親委託率の引き
上げを目標としているが、
最も大切なのは、行政と里親家庭
が連携して、児童の育成を支えて
いくための環境を充実させること
である。これまでの里親家庭への

支援体制と取り組みを尋ねる。

答 専門的な知識や経験を有す
る、えがお館の里親対応専
門員が、里親からの相談や悩みな
どに対応している。また、里親サ
ロンや研修会の開催、里親の休息
を保障するレスパイト事業などを
実施している。

女性の新規就農者に対する
支援を
市民ク

問 女性の視点やアイデアを生
かした農業を推進するため
に、女性の新規就農者や経営者を
増やす施策に力を入れるべきであ
る。農業にチャレンジしようとする
女性をさまざまな角度から応援
してほしいが所見を問う。

答 本市の農業従事者の約半数
が女性で、農業の担い手と
して重要な役割を果たしており、
6次産業化の担い手としても大き
く期待されている。今後さらに女
性の新規就農が促進されるように
ニーズに応じた支援に努める。

箱崎地区の元寇防塁等の
保存・活用を
無所属

問 史跡や出土品の活用・開示
が不十分だ。今津の蒙古塚
も一人では怖くて近づき難い。史
跡等を整備、演出してこれらの宝
をもっと開示すべき。九大箱崎の
跡地内の元寇防塁を生かすべく
もっと取り組むべきだが所見を。

答 九大箱崎キャンパス跡地内
でこれまでに発見された石
積み遺構は、令和2年3月に元寇
防塁として国史跡の指定を受けて
いる。当該地の防塁の活用につい
ては、保存と活用のバランスを考
慮しながら検討していく。

コロナ危機打開への決意を
令和会

問 新型コロナウイルスへの対
応の経験を踏まえた危機管
理の在り方など、今後のコロナ危
機打開に向けた市長の決意と、最
新鋭のPCR検査技術を導入し、
PRするなど、本市の経済活性化
に向けた市長の所見を尋ねる。

答 感染症の拡大を防止しつ
つ、地域経済の活性化に取
り組んでいくために、国の動向を
的確に把握するとともに、今回の
経験を生かしながら、市民生活と
地域経済を守るため、その役割を
しっかりと果たしていく。

成年後見利用支援制度の
対象拡大を
公明

問 成年後見利用支援制度は、
本市では市長申し立てに
限っており、費用助成を受けられ
る人が少なく、支援対象の拡大等
を求める声を聞く。無報酬案件で
受任者が見つからない事態を回避
するため、制度の対象拡大を行う
べきだが所見を問う。

答 成年後見のニーズが高まる
中で、利用支援制度の対象
拡大については重要な課題と認識
しており、今後、中核機関設置に
向けての関係団体との協議などを
踏まえて検討していく。

就業する重度障がい者への
自立支援のため事業実施を
令和会

問 国が新たに創設し市町村が
事業化を判断する「雇用
施策との連携による重度障害者等
就労支援特別事業」について、全
ての人が公平にその人らしく生き
ていくためにも、確実に事業化し

てほしいが所見を問う。

答 常時介護が必要な重度障
がい者の働きたいという気持
ちに寄り添い、就労機会の拡大を
図ることは重要と認識している。
国が新たに創設した同事業につい
ては、今後国が発出する通知など
を確認しながら検討していく。

障がい者グループホーム設置
補助金の要綱の見直しを
令和会

問 本市の障がい者グループホ
ーム設置補助金は、交付要
綱に、開設後2カ月以内に利用定
員の2分の1以上の利用者の契約
がない場合は補助を取り消すとの
条文がある。この補助金の要綱は
修正が必要と考えるが所見を。

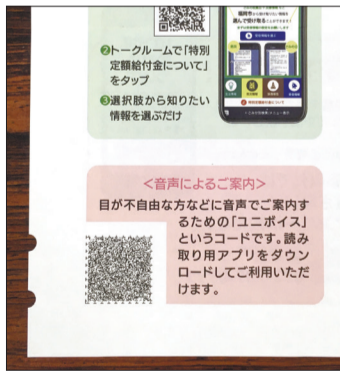
答 障がい者グループホームの
設置に係る補助金の交付に
当たっては、今後、入居率の推移
や体験利用などの入居契約に至る
までの手続きの実態等を踏まえ、
より現状に即した制度となるよう
に検討していく。

市の全ての郵送物に
音声コードの印刷を
公明

問 ※音声コードは、視覚障が
い者に情報を適切に伝える
ために有効である。今回の特別定
額給付金の申請書に初めて音声コ
ードが印刷された。今後は市の全
ての郵送物に音声コードを印刷す
べきと考えるが所見を問う。

答 本市の全所属に対して、市
民向けのチラシや各種行政
計画などを作成する際には、音声
コードを掲載するように依頼し
た。今後とも、視覚障がい者に寄
り添った支援として、音声コード
の普及・啓発に努めていく。

紙媒体に掲載された印刷情報をデジ
タル情報に変えるための二次元のバー
コード。このコードによって音声化する
ことができる。



「福岡市特別定額給付金のご案内」に印刷された音声コード

まちの活性化につながる
空き家の利活用を
市民ク

問 関係局が連携し、空き家の
利活用事例が増えることに
よって、まちの活性化につながる
ことが期待される。放置空き家の
是正に取り組み住宅都市局が要と
なっているが、所見を
問う。

答 住宅市場に流通していない
空き家は、新たに創設した
※空き家バンクにおいて所有者と
利用希望者のマッチングを進めて
いく。空き家バンクの運用に当た
っては関係機関と連携し、空き家
の有効活用に取り組んでいく。

※空き家バンク
空き家バンク
市に提供された物件情報を、空き家を
買いたい、借りたい人に紹介する制度。

新型コロナウイルス感染症
対策のため医師会との連携を
自民

問 新型コロナウイルス感染症
が再び拡大した際に市民の
命や健康を守っていくためには、
医師会を中心とした地域の医療機
関が果たす役割は非常に大きいと
考える。今後の第2波、第3波へ
の対応について医師会とどのよう
に連携していくのか。

答 地域外来・検査センターの
運営、新たな制度や症例等
の情報共有を引き続き行うことも
に、かかりつけ医の診療体制づく
りなど、福岡市医師会との一層の
連携を図っていく。

水道料金の支払いが困難な
人に寄り添った対応を
自民新

問 緊急事態宣言の際、外出自
粛により、家庭での水道使
用量が増えている中、新型コロナ
ウイルス感染症の影響により水道
料金の支払いが困難な人に対し
てどのような対応をしているのか。

答 同感染症の影響により水道
料金の支払いが困難なお客
さまを対象に、支払期限の延長を
行っている。相談がなく、料金の
支払いがない状況となった場合に
も給水を継続しており、今後もお
客さまに寄り添った丁寧な対応に
努めていく。

このほかの主な質問

- 交通事故犯罪状況及び防犯施策の推進について
- スーパーシティについて
- 自衛隊への青年の名簿提供問題について
- 中体連・中連中止の代替措置について
- 新型コロナウイルス感染症における支援策について
- 感染症対策にかかる保健所体制の強化について
- 高齢者施設における非常用自家発電設備について